



新日本语能力考试助考系列

总主编◎吴 侃

紧扣新考纲，完全新题型
名师编写，助你冲刺

N2

新日本语能力考试 考前模拟

主 编◎陈 露 陈崇君 余祖发 陈月娥



(含MP3光盘)



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

新日本语能力考试助考系列

总主编 吴 侃

新日本语能力考试

N2 考前模拟

(含 MP3 光盘)

主编 陈露 陈崇君 余祖发 陈月娥



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

内 容 提 要

本书为新日本语能力考试助考系列中的 N2 级模拟题,全书由工作在日语教学第一线的教师根据新的考纲和题型编写。全书题量大,共有 8 套模拟题,附录中提供答案和录音原文。

图书在版编目(CIP)数据

新日本语能力考试 N2 考前模拟/陈露等主编. —上海:
上海交通大学出版社,2013
(新日本语能力考试助考系列)
ISBN 978-7-313-09696-8

I. ①新… II. ①陈… III. ①日语-水平考试-题解
IV. ①H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2013)第 095275 号

新日本语能力考试 N2 考前模拟

陈 露 陈崇君 余祖发 陈月娥 主编

上海交通大学出版社出版发行

上海市番禺路 951 号 邮政编码 200030

电话: 64071208 出版人: 韩建民

昆山亭林印刷有限责任公司印刷 全国新华书店经销

开本: 787mm×1092mm 1/16 印张: 15.25 字数: 358 千字

2013 年 9 月第 1 版 2013 年 9 月第 1 次印刷

印数: 1~3030

ISBN 978-7-313-09696-8/H 定价: 36.00 元

ISBN 978-7-88844-774-5 (含 MP3)

版权所有 侵权必究

告读者: 如发现本书有印装质量问题请与印刷厂质量科联系
联系电话: 0512-57751097

前 言

日语能力考试于1984年开始举行,迄今已有26年的历史。从2010年开始,日语能力考试出现了很大变革。为与过去的能力考试进行区分,2010年之后的考试被称为“新”能力考试,用“N”来标示。比较新旧能力考试,其显著变化主要有以下几点:

第一,级别由原来的四级变成五级,即N1、N2、N3、N4和N5。由于旧能力考试2、3级之间难度跨度过大,知识衔接不太合理,所以,在“新”能力考试中增加了N3,这相当于旧能力考试中2、3级之间的过渡级别。

第二,更加注重考查学习者的语言综合运用能力。根据日本国际交流基金网站公布的考试纲要可以看出,在“新”能力考试中,文字词汇和语法等纯粹记忆性的题目数量有所减少,而考查语言综合应用能力的阅读和听解则相应增多。

第三,合格认定标准的变化。由于更加注重学习者的语言综合运用能力,所以,“新”能力考试的合格认定方式由原来的只看总分改为总分和各部分分数都必须合格。

第四,考试次数(N1、N2、N3)由原来每年一次增加到两次(7月和12月)。

由于“新”能力考试相应减少了文字、词汇和语法部分的比重而大大增加了听解的比重,所以中国学习者就很难再凭借原来的汉字优势来通过考试,而必须通过全面提高日语综合运用能力来通过考试。

为帮助中国学习者积极应对“新”能力考试中的重大变化,更加快捷有效地提高考试成绩,本书编写人员以“新”考试纲要为指南,在综合对比研究历年试题的基础上,根据多年积淀的教学经验和对日语语言的深刻理解及认识编写了本套丛书。本丛书编写人员从事日语教学多年,一直活跃在日语教学第一线,教学经验丰富。希望本书能够对各位考生有所帮助。

目 录

模擬テスト1

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	1
聴解	18

模擬テスト2

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	21
聴解	38

模擬テスト3

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	41
聴解	60

模擬テスト4

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	63
聴解	81

模擬テスト5

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	84
聴解	101

模擬テスト6

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	104
聴解	120

模擬テスト7

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	123
聴解	141

模擬テスト8

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	144
聴解	162

答案及解析	165
-------------	-----

录音原文	173
------------	-----

模擬テスト1

言語知識(文字・語彙・文法)・読解

問題1 _____の言葉の読み方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1 道路を渡るときは、いきなりとび出さないで、右左をよく確かめて、手をあげて合図をしてから渡りましょう。

- 1 ごうず 2 あいと 3 ごうと 4 あいず

2 両チームの代表が握手を交わして、交渉に入った。

- 1 あくしゅ 2 あくて 3 にぎて 4 おくしゅ

3 鮮やかなピンク色の体をした昆虫を見かけた。

- 1 はなやか 2 にぎやか 3 あざやか 4 あでやか

4 雨具の専門店で雨傘を買った。

- 1 あめぐ 2 あめど 3 あまど 4 あまぐ

5 今から、防災訓練を行います。

- 1 ぼうえん 2 ぼうさい 3 ほうえん 4 ほうさい

(2010年7月真題)

問題2 _____の言葉を漢字で書くとき最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

6 ビールをたくさん飲んで、電車で帰宅する途中にあばれた。

- 1 暴れる 2 乱れる 3 爆れる 4 破れる

7 おうふく葉書で入会の申込書を送った。

- 1 住複 2 住復 3 往復 4 往複

8 でんか生活はますます便利になった。

- 1 電荷 2 電化 3 天下 4 添加

9 あの人は3億円の宝くじに当たって、毎日ごうかな食事を食べている。

- 1 豪華 2 豪花 3 高価 4 効果

10 東京駅までのうんちんはいくらですか。

- 1 運賃 2 運費 3 運賃 4 運賃

(2010年12月真题(9))

問題3 _____に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

11 彼と二人だけでいると_____と感じる。

- 1 重苦しく 2 生々しく 3 息苦しく 4 愛くるしくて

12 彼女が私の言葉を間違って受け_____らしい。

- 1 取った 2 入れた 3 つけた 4 負った

13 私の車はそのバスを追い_____。

- 1 かけた 2 込んだ 3 越した 4 出した

14 顔は知っているのですが、いつどこで会ったか思い_____ない。

- 1 切れ 2 付け 3 当たれ 4 出せ

15 娘はいつも私たちの話に_____込んで来た。

- 1 割り 2 入り 3 思い 4 押し

問題4 _____に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

16 戦争で多くの_____が失われた。

- 1 人生 2 生命 3 一生 4 寿命

17 この状態がしばらく_____するだろう。

- 1 持続 2 相続 3 連続 4 接続

18 何をするにも_____な方法をとってはいは、成功は難しい。

- 1 安静 2 安価 3 安易 4 安定

19 弟は毎日、研究所で科学の_____をしている。

- 1 実行 2 実験 3 実用 4 実感

20 あの女はどんな難しいことでも_____でやってのける。

- 1 平気 2 陽気 3 素直 4 利口

21 素肌の美しさが目に_____。

- 1 はげしい 2 まぶしい 3 ひとしい 4 まずしい

22 彼は精神が錯乱していたと_____できる。

- 1 指定 2 仮定 3 断定 4 勘定

問題5 _____の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

23 彼はいさましい英雄として表彰された。

- 1 勇敢な 2 おとなしい 3 輝かしい 4 男らしい

24 夜中に怪しい人から電話がかかってきた。

- 1 わるい 2 おかしい 3 つまらない 4 疑わしい

25 雨のため、運動会の予約を取り消すことになりました。

- 1 打ち消す 2 もみ消す 3 取り除く 4 取り上げる

26 母は今年は自分でおせち料理を作ると言った。

- 1 こしらえる 2 できあげる 3 立ち上げる 4 くつろぐ

27 夕食会から帰ってきた学生たちが腹痛を訴えて、病院で診察を受けた。

- 1 告げて 2 主張して 3 申告して 4 告訴して

問題6 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

28 今にも

- 1 去年は公務員試験に失敗したが、今にもそれ以上の成績を出したい。
2 あの子は今にも泣き出しそうな顔をしている。
3 日本語を勉強して5年経ちましたが、今にも日本へ行っていない。
4 5年前から会計の仕事していますが、今にも続けています。

29 だいたい

- 1 あの二人はだいたいあやしい。
2 地下鉄はだいたいここを通る。
3 明日の会議はだいたい2時に終わる。
4 田中さんは明日だいたい来るだろう。

30 くっきり

- 1 天気にも恵まれたので、富士山がくっきり見えた。
2 北海道の景色はくっきり美しい。
3 この映画の中では彼の演技がくっきり目立っていた。
4 これからの進路についてくっきり悩んでいる。

31 どっと

- 1 あの映画スターが車から降りるとファンたちがどっと押し寄せる。
- 2 どっと寒くなりました。
- 3 資料を用意しましたので、会議の前にどっと読んでください。
- 4 昨日の試合は全力走らなかったで、どっと最下位になった。

32 引き出す

- 1 帰ろうとする彼女をなんとか引き出した。
- 2 バスは台風のため、観光客を乗せて出発地に引き出した。
- 3 仕方なくこの仕事を引き出した。
- 4 先生は学生の才能をうまく引き出した。

問題7 次の文の()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

33 会社でさんざんパワハラを受けた()来月までで解雇を通告された。

- 1 とたん
- 2 あげく
- 3 以上
- 4 ことに

34 今後も事情が許す()皆さんの活動に参加させて頂きたいと思います。

- 1 とおり
- 2 だけ
- 3 ほど
- 4 限り

35 また、気温が上がり、雨も降る()、北海道や東日本の積雪の多い地方では雪解けが進む。

- 1 につけ
- 2 だけでなく
- 3 そのもの
- 4 ことから

36 あんな暴力夫なんて、別れられる()別れたい。

- 1 ことには
- 2 ものなら
- 3 わりには
- 4 わけには

37 新しい年を迎える()、自分なりに「今年こそ!」という決意を並べ立てています。

- 1 たびに
- 2 ばかりに
- 3 うちに
- 4 とおりに

38 東京23区の公務員の給与は悪くはないと思います。地方より都会になる()年収は大きく、東京と比べると結構差が出ます。

- 1 ほど
- 2 くらい
- 3 まま
- 4 ものの

39 来年度の進学相談会、学部別オープンキャンパス・進学相談会の日程は決定()、このホームページに掲載いたします。

- 1 結果
- 2 始末
- 3 次第
- 4 限

40 私たちが旅館に着くと、従業員たちが笑顔で「ようこそ()。｣とあいさつしてくれました。

- 1 お呼びくださいました 2 お越し下さいました
3 お伺いしました 4 お迎えしました

(2012年7月真題)

41 後ろの人もよく聞こえる()大きな声で話して下さい。

- 1 とおりに 2 ために 3 ばかりに 4 ように

42 ストレスをためている人間は横暴な振る舞いをし()なものです。

- 1 がち 2 かけ 3 くせ 4 よう

43 「時間がない」などというのは言い訳()。

- 1 に限らない 2 に過ぎない 3 によらない 4 に及ばない

44 納豆は健康に良いとマスコミが報道した()、納豆の売上が倍増した。

- 1 とたん 2 ついでに 3 次第 4 うちに

問題8 次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

45 このコンサートの警備には、警備員 _____ ★ _____ 十分です。

- 1 いれば 2 が 3 も 4 20人

(2012年7月真題)

46 この店は、店主一人で _____ ★ _____ 多い。

- 1 驚くほど 2 調理もサービスも
3 こなすのに 4 料理の種類が

47 『鈴木先生』は _____ ★ _____ である。

- 1 漫画作品 2 日本の 3 による 4 武富健治

48 桜の花は _____ ★ _____ 花である。

- 1 にとって 2 日本人 3 春を 4 象徴する

49 消費税は、若者から高齢者まで、 _____ ★ _____ 税です。

- 1 問わず 2 負担する 3 みんなが 4 世代を

問題9 次の文章を読んで、50 から 54 の中に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

急速に発達する低気圧の影響で、週末の6日土曜から7日日曜 50、全国的に大荒れの天気となる。昨年4月に襲来し、各地で死傷者が出た、いわゆる「爆弾低気圧」と同様の状況で、台風並みの暴風雨となりそうだ。政府はインターネットの「広報オンライン」サイトを 51、特に天気の急な崩れが予想されるときには外出を控える、警報・注意報が発表された場合は早めに帰宅するなど、「春の嵐」を台風と同様に警戒する 52 呼びかけている。また日本気象協会は、「強い風が数日 53 続き、暴風 54 被害が予想される」として、不要不急の外出は控えるように呼びかけている。

毎日新聞 2013年4月6日(土)6時22分配信

50

- | | |
|---------|---------|
| 1 に向け | 2 に対して |
| 3 にとっては | 4 にともない |

51

- | | |
|--------|-------|
| 1 こめて | 2 通じて |
| 3 めぐって | 4 よそに |

52

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1 ため | 2 ほど | 3 よう | 4 もの |
|------|------|------|------|

53

- | | |
|---------|---------|
| 1 において | 2 にわたって |
| 3 にかぎって | 4 さきだって |

54

- | | |
|--------|--------|
| 1 にくる | 2 をもとに |
| 3 とともに | 4 による |

問題10 次の(1)から(5)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

まだ幼かった頃、近所の原っぱ(注1)で紙芝居(注2)を見終えた後、夕ごはん^{かみしばい}に間に合うように走って帰った夕暮れ^{ゆうぐ}の美しさは今も忘れない。あの頃、時間とか、自分を取りま

く(注3)世界を、一体どんなふう感じていたのだろう。一日が終わってゆく悲しみの中で、子どもながらに、自分も永遠に生きられないことを漠然と(注4)知ったのかもしれない。①それは子どもがもつ、本能的な、世界との最初の関わり方なのだろうか。

(星野道夫『旅をする木』による)

(注1) 原っぱ: 広くて、多い草などが生えた土地

(注2) 紙芝居: 物語の場面を連続的に描いた絵を、順番に1枚ずつ出して、またそれに合わせて説明するもの

(注3) とりまく: 囲む

(注4) 漠然と: ぼんやりして、はっきりとしないさま

55 「①それ」というのは何か。

- 1 夕暮れがとても美しいということを知ること
- 2 自分を囲む世界が悲しいということを知ること
- 3 一日が終わってしまうのが悲しいということを知ること
- 4 自分にもいつか終りがあるということを知ること

(2)

木を植えることはいいことだ。われわれは無条件にそう考えがちだ。

でも、乾燥地帯に木を植えれば、少ししかない水が木に吸い取られる。悪くすると地下水が枯れ、川の流量も減る。

よく考えてみれば当たり前のことだろう。しかし、森林の役割を重視するあまり、自然の循環を忘れた「植林神話」が世界に広がっているそうだ。

(伊藤智章 「窓」2008年2月20日付朝日新聞夕刊による)

56 「植林神話」とはどのようなものか。

- 1 乾燥地帯の地下水を増やすには、環境に適した木を植える必要があると考えること
- 2 自然界の水の循環を考慮して、場所を選んで木を植えたほうが良いと考えること
- 3 自然界における森林の役割に注目し、木を植えるのはいいことだと考えること
- 4 乾燥地帯での森林の役割を見直して、木をどんどん植えようとする

(2010年7月真題)

(3)

創立30周年を迎え、心よりお祝い申し上げます。業界の非常に厳しい環境にもかかわらず、当社が順調に創立30周年を迎えられることに對し、OBとして格別な喜びを感じております。

わたくしが経営の任に当たりましたのは平成11年から5年間でございますが、ちょうど「失われた十年」と呼ばれる時期の前半で、どこの企業も生き残りに懸命な時代でありました。

当社も既に前年には赤字転落しており、わたくしとしても先行きに大変な危機感を持っておりました。そこで、わたくしが最初に着手したのは徹底的なムダの排除運動でした。この運動の真の狙いは単なる経費削減ではなく、運動を通じて社員一人ひとりの意識を改革することと、それにより企業体質を抜本的に改革すること、さらに、…

57 東京インターナショナル・ユニクロ創立30周年記念式典でされた、あいさつのいくつかが社内報に載った。上のあいさつは誰のものか。

- 1 現社長
- 2 元社長
- 3 役所から来る官僚
- 4 インターナショナル・ユニクロのあるお得意様

(4)

私にとって「親友」とは、(①)相手です。

「それは間違っているわ。〇〇じゃない。」「いや、そんなことはないよ。〇〇だよ。〇〇だからね。」「そんなの変。〇〇だから〇〇なのよ。」「〇〇ってことはそうだけど、〇〇だから××だよ。」「(中略)」

でも、日本ではこういう議論はなかなかできません。(中略)多くの人は意見が異なると、すぐ不快になります。そしてその不快感を前面に押し出して、その不快感で相手をだまらせようとします。

それゆえなおさら、(①)相手が私には貴重で、そういう人が、私にとって「親友」と呼ぶにもっともふさわしい人なのです。

(小野田博一『論理的な作文・小論文を書く方法』による)

58 次の文の(①)に入るものとして、最も適当なものはどれか。

- 1 楽しく意見を戦わせることができる
- 2 自分の意見をよく理解してくれる
- 3 意見が異なっても議論をしなくてすむ
- 4 意見が異なると、相手をだまらせようとする

(5)

人材^{じんざい}の評価や選抜^{ほうしき}の方式は、社会の根本的な活力^{きでい}を規定する最も重要なファクター^(注1)である。しかもその人材^{じんざい}の育成^{いくせい}には時間がかかる。競争のない社会、公正な評価が通らない組織は、長い目で見れば必ず衰退^{すいたい}する^(注2)。だからこそ、いつの時代でも、どの組織でも、優秀^{じゆう}な人材^{じんざい}の獲得^{かくとく}に躍起^{えつき}になり^(注3)、人材^{じんざい}の育成^{いくせい}に多大の努力を注ぐとともに、いかに公正な評価のシステムを組み込むのかという点に強い関心を払ってきたのである。

(猪木武徳 『自由と秩序—競争社会の二つの顔』による)

(注1) ファクター: 要素

(注2) 衰退する: 衰える、弱くなる

(注3) 躍起になる: 必死になる

59 筆者は、人材が公正に評価されないと組織はどうなると述べているか。

- 1 短期間^{じんざい}で人材^{じんざい}を育てられなくなる。
- 2 優秀^{じゆう}な人材^{じんざい}を獲得できなくなる。
- 3 組織の活力^{いじ}を維持できなくなる。
- 4 組織への関心が薄くなる。

(2012年7月真題)

問題11 次の(1)から(3)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

「リンゴのような頬をした子供」という表現から、私たち日本人は赤い色を思い浮かべるのが普通だと思う。ところが、国が変わり、言葉が違っても必ずしもそうではない。現在、リンゴという果物は、熱帯^{ねったい}地方を除けば世界に広く栽培^{さいばい}されているから、たいていの言語にはリンゴをさす言葉がある。しかし、リンゴということばを聞いて、どんな色を第一に思い浮かべるかということになると、意外なことに、(①)のである。

考えてみると、たしかにリンゴにはさまざまな色がある。熟^{じゅく}しても青(緑)のままのもの、黄色のもの、赤と黄の混じったものなど、赤だけではない。しかし、日本では、ことばとしての「リンゴ」は「赤いもの」の中に含まれているのだ。だから、②小さな子供たちに、ことばの遊びの中で「赤いものなあに」と聞けば、「リンゴ」という返事が返ってくるし、連想ゲームでも赤と言えばリンゴと、打てば響く^{うひび}よう^(注1)に出てくるのである。難しく言うと、日本では文化としてのリンゴは赤と決まっているということになる。そこで「リンゴのような頬」の「リンゴのような」という表現は、日本語では赤の形容として使われるので、青(緑)や黄色^{れんそう}を連想する人はまずいないのである。

しかし、実際のリンゴは赤だけではないのだから、リンゴと聞いて青(緑)を連想^{れんそう}する

文化があっても、すこしもおかしくないはずである。その代表がフランスである。フランス語ではリンゴをポムというが、ポムは青(緑)と決まっている。子供の絵本を見ても、リンゴはいつも青(緑)で描かれているし、ことば遊びで青は、決まってリンゴと結びつく。果物の中で赤と言え、さくらんぼ(注2)を連想するのが普通のようなのだ。…

このように、世界中どこにでもある同じものが、ひとたび文化としてのことばの枠の中に置かれると、日本人が考えもしない別の意味を与えられるのである。

(鈴木孝夫 『ことばと文化』による)

(注1) 打てば響く: ^うすぐ、その^{ひび}反応・^{はんのう}効果が現れる

(注2) さくらんぼ: 果物の一種

60 (①)に入る文として、適当なものはどれか。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 赤とはきまっていない | 2 さまざまと答えることもある |
| 3 赤以外の色ばかりである | 4 別の色に理解していない |

61 「②小さな子供たちに、ことばの遊びの中で「赤いものなあに」と聞けば、「リンゴ」という返事が返ってくる」とあるが、なぜか。

- 1 子供がみんな赤いリンゴを食べるのが好きだから。
- 2 子供が小さい頃からずっとリンゴの色が赤いと親に教えられてきたから。
- 3 子供が赤いリンゴ以外の果物をまだ考え出せないから。
- 4 子供が特定の文化に育てられてきたから。

62 本文の内容に合うものは、どれか。

- 1 ことばと文化はそれぞれ違うものだ。
- 2 ことばに文化が含まれている。
- 3 ことばを文化という環境において考えてみるべきだ。
- 4 色を表すことばが日本語にはいっぱいある。

(2)

方向音痴(注1)の直し方ってないものかといつも私は悩んでいる。どこで①そうになったかを考えてみると、方角(注2)に弱いのは小さいころからだ。小学生の時に学校で、東西南北を教わったときに、「北に向かって、お箸を持つ手のほうが東、お茶碗を持つ手のほうが西です」と言われた。

私はその時納得した(注3)のだが、家に帰ると頭が混乱した。私の父親は左利き(注4)だったので、並んでご飯を食べていると、違う方向に箸を持っていることになる。②私にとっての東と、父にとっての東が違うのである。

「いったい、うちでは東西南北はどうなっているんだろう」と首をかしげた(注5)まま、先生にも聞かずにほったらかし(注6)にしておいたので、それがいまだに尾を引いている(注7)

のではないかとと思っているのだ。

(③)、引っ越した直後、最寄^{もより}(注8)の駅からアパートまでともに帰れたことがない。最低2度か3度は近所^{そうなん}で遭難^{そうなん}する(注9)。ぐるぐると付近を30分程度歩いたあげく、「はて、アパートはこんなにおかつたかしら」とやっと迷っていることに気づく始末なのである。

(群ようこ 『ホンの本音』による)

(注1) 方向音痴: 方向が分からなくなってしまうこと、またその人

(注2) 方角: 方向

(注3) 納得する: 理解する。承知する

(注4) 左利き: 右手よりも左手のほうが自由に使えること、またその人

(注5) 首をかしげた: 不思議などの思いで首を傾ける

(注6) ほったらかす: すべきことをしないで、打ち捨てておく

(注7) 尾を引いている: 物事の影響などがずっと後まで続く

(注8) 最寄: (いくつかある中で)最も近いこと。すぐ近いあたり

(注9) 遭難する: 道に迷ってしまう

63 「①そうなったか」とはどういう意味か。

- 1 方向音痴になった原因
- 2 方向音痴になってしまったこと
- 3 方向音痴の直し方を探し始めたきっかけ
- 4 方向音痴を直したいと思うようになったこと

64 「②私にとっての東と、父にとっての東が違う」とあるが、どういうことか。

- 1 父親と私は利き手が違うので、学校で教わったことは全く間違いだということ
- 2 父親は左利きなので、父が箸を持つ手のほうが本当の「東」だということ
- 3 父親は左利きなので、学校で教わった「東」とは逆になってしまうこと
- 4 父親はずっと箸を持つ手のほうが「東」だと思ってきたということ

65 (③)に入る言葉として、適当なものはどれか。

- 1 ところで
- 2 そこで
- 3 つまり
- 4 たとえば

(3)

ほどよく空いた電車の中で、暖かい陽ざしを浴びながら、五、六歳の男の子が、頻りに隣に座った母親に話しかけている。「アツギ^{あつぎ}(注1)ってかあさん、みんな厚着してるからだよな」。母親は当惑^{とうわく}(注2)気味にはほえんで(注3)いるだけだ。空いているので、男の子の声は車内の隅々にまで聞こえてしまう。それにしても、この子は変わった単語を知っているものだ。もしかして家には年寄りもいて、厚着がいいとか悪いとかよく話題になる

のだろう、などと思う。

電車が次の駅に着くと、こんどは「エビナ^(注4)」ってかあさん、エビがたくさんとれるんだよね。母親の返事がないものだから、「じゃないかな？エビがナイからエビナなのかな」。こんな小田急線^(注5)の地名解釈につり込まれて^(注6)いるうちに、①私はもう降りなければならなかった。この子はなんと頭のいい子なんだろうと思いつつながら。いや、頭のいいのはこの子にかぎらない。この年頃のこどもたちは、おとなが永遠^{えいえん}に失ってしまった、ことばの獲得^{かくとく}にとっての、あの黄金時代^{おうごんじだい}のさなか^(注7)にいるのだ。ことばはまだ響きの中に生きていて、こどもはその響きと対決^{たいけつ}し^(注8)、自分なりに解釈^{かいしゃく}し、秩序^{ちつじょ}づけようとして、必死^{ひっし}でもがいて^(注9)いるのだ。②そんなとき、おとなは決して、文字や書物のさかしらな^(注10)知識をふりかざして^(注11)、こどもの実験^{じけん}をあざ笑^{あざわら}っては^(注12)ならない。おとなの知識は、自らの経験^{けいけん}をこえた他力^{たうりき}によるものだが、こどもの解釈は、ひたすら自力^{じりき}^(注13)で挑んだ作品である。

たなかかつひこ
(田中克彦 『ことばの自由をみとめて』による)

(注1) アツギ：厚木(駅名)

(注2) 当惑^{とうわく}：どうしたらいいか困って迷っている様子

(注3) ほほえむ：にこにこ笑う

(注4) エビナ：海老名(駅名)

(注5) 小田急線^{おだきゅうせん}：地下鉄線路の一つ

(注6) つり込む：興味を持たせて夢中にさせる

(注7) さなか：ちょうど～をしている途中

(注8) 対決^{たいけつ}する：出会う。ぶつかる

(注9) 必死^{ひっし}でもがく：一生懸命に頑張る

(注10) さかしらな：何でも知っているような

(注11) ふりかざす：使う

(注12) あざ笑^{あざわら}う：笑う。嘲笑^{ちやうしょう}する

(注13) 他力^{たうりき}：外側・外部からの力 自力^{じりき}：自分・内部からの力

66 「①私はもう降りなければならなかった」というときの筆者の気持ちはどんなものだったか。

- 1 もっと男の子の話が聞きたいという残念な気持ち
- 2 うるさい車内から逃げられるという気持ち
- 3 母親が子どもに注意するべきだという気持ち
- 4 男の子の話の意味が理解できないという気持ち